

経営比較分析表（令和4年度決算）

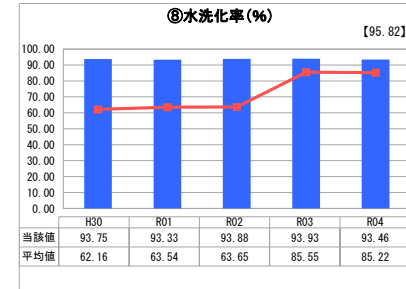
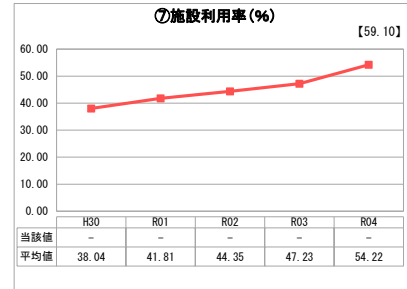
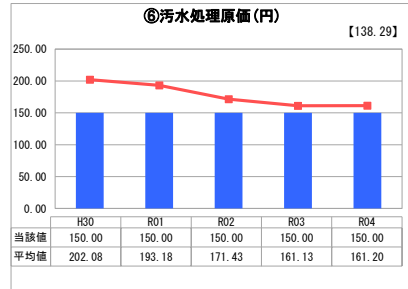
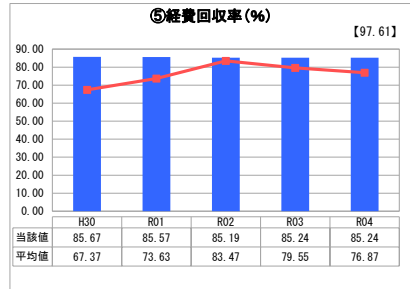
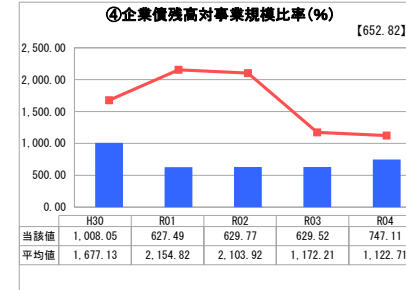
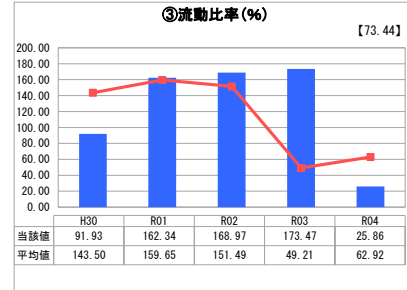
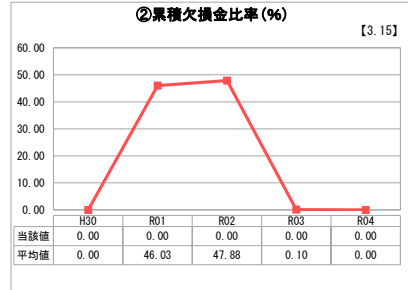
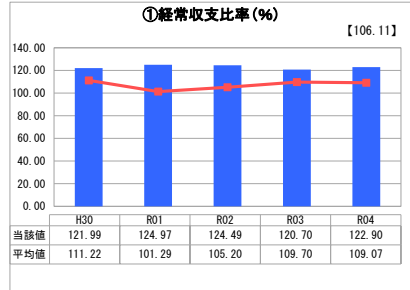
奈良県 平群町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	53.87	60.15	86.00	2,640

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,434	23.90	771.30
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
11,032	2.04	5,407.84

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

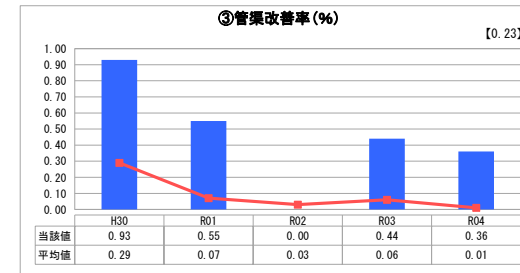
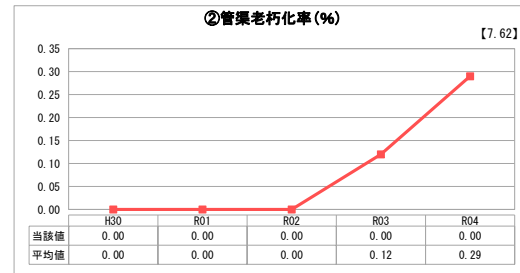
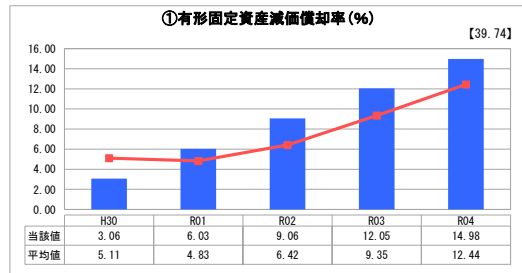
① 経常収支比率が100%以上になっているが、一般会計からの繰入金により収支の均衡を図っているためであり、経費回収率からみても、一般会計からの繰入に依存している状況です。
 ② 累積欠損金については、短期的な債務に対する支払能力が改善されてきている。
 ③ 流動比率については、流動的な債務に対する支払能力が改善されてきている。
 ④ 企業債残高対事業規模比率については、普及率が60.15%であるため、使用料収入で賄えない現状にあります。
 ⑤ 施設利用率については、町の施設を持たず奈良県流域下水道センターで終末処理を行っているためです。
 ⑥ 水洗化率については、集中浄化槽区域を公共下水道へ接続しているために類似団体平均値より高い状況になっています。

従前より一般会計からの基準外繰入に頼っていることから、経営健全化対策として平成30年度より地方公営企業法の財務規定を適用し下水道事業の経営状況の明確化・経営基盤の強化を図っています。

2. 老朽化の状況について

・保有資産の大部分が管渠であり、本事業の建設事業開始は平成3年度・供用開始は平成18年度のため、新たに整備した管渠の耐用年数は50年を見込んでいるため、現在老朽化の度合いは低い。
 ・但し、近年ではすでに老朽化している集中浄化槽区域を積極的に公共下水道へ接続しているため、今後はストックマネージメント計画をたてながら、国の補助金等を活用し、老朽化対策に努めて行きます。

2. 老朽化の状況



全体総括

・本事業は、町の財政状況を勘案しながら未整備地区の整備を進めていく事になります。
 ・今後も一般会計からの繰入に依存していく経営となるが見込まれ、効率的な整備による普及率の向上や、供用開始後の未接続世帯への啓発により、水洗化率を上げ、使用料収入を増加させることで本町の下水道事業全体の経営基盤の強化を図っていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。